

平成 21 年度各種委員会報告

I. 学術集会

1. 学術委員会

委員長 宮 野 武

本委員会では、主に定期学術集会のプログラムについて検討している。

第 110 回の特別企画や上級演題のテーマについては、本委員会でも審議の上、決定した。来年の第 111 回のプログラムについても、本会として継続的に扱うテーマなどを考慮した上で検討している。

Ⅱ. 教育

2. 教育委員会

委員長 上 本 伸 二

1. 卒後教育セミナーについて（資料1）

- 1) 第75回は「高齢者の外科手術」のテーマで昨春の第109回定期学術集会に並行して、田中雅夫前会頭のお世話で福岡市にて開催した（参加者1,220名）。
- 2) 第76回は「外科手術における感染症の up to date」のテーマで昨秋の第71回日本臨床外科学会総会の谷川允彦前総会会長にお世話いただき京都市にて開催した（参加者456名）。
- 3) 平成22年度の実施計画としては、第77回を「リンパ節郭清の昔と今」のテーマで4月10日に資料1の如く、中尾昭公会頭のお世話で開催する。
- 4) 第78回は「匠の標準手術」のテーマで今秋第72回日本臨床外科学会総会の小西敏郎総会会長にお世話いただき開催する予定である。

（資料1）

第77回卒後教育セミナー

日 時：平成22年4月10日（土）13:30～17:00

（第110回日本外科学会定期学術集会3日目）

場 所：名古屋国際会議場 白鳥ホール

世話人：中尾 昭公（第110回日本外科学会定期学術集会会頭，名古屋大学消化器外科）

企画：戸井 雅和（日本外科学会教育委員，京都大学乳腺外科）

テーマ：リンパ節郭清の昔と今

1. 肺癌

司会：千葉大学胸部外科 吉野 一郎

講師：香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科 横見瀬裕保

2. 食道癌

司会：NTT 東日本関東病院外科 小西 敏郎

講師：慶應義塾大学一般・消化器外科 北川 雄光

3. 乳癌

司会：京都大学乳腺外科 戸井 雅和

講師：熊本大学乳腺・内分泌外科 岩瀬 弘敬

4. 胃癌

司会：大分大学腫瘍病態制御外科 北野 正剛

講師：藤田保健衛生大学上部消化管外科 宇山 一郎

5. 大腸癌

司会：京都大学消化管外科 坂井 義治

講師：帝京大学外科 渡邊 聡明

6. 膵臓癌

司会：日本医科大学外科 田尻 孝

講師：京都大学肝胆膵・移植外科 土井隆一郎

7. 胆管癌

司会：名古屋大学腫瘍外科 柳野 正人

講師：千葉大学臓器制御外科 宮崎 勝

卒後教育セミナーは、本会外科専門医制度規則施行規定により指導医の選定申請（春季は定期学術集会に参加しなかった場合のみ）および更新申請、外科専門医の更新申請（10単位）の際の研究実績に加算することができる旨、周知方をお願いしたい。

2. 映像による私の手術手技—ビデオライブラリーについて（資料2、3）

平成22年度の「映像による私の手術手技」は資料2のように決定した。また、一昨年度から標準手術シリーズと最新手術シリーズに分けることとし、標準手術シリーズは従来通り5名を選定、最新手術シリーズは学術集会のビデオ演題から10演題程度を選定することとした。第109回学術集会のビデオ演題からは資料3のように17演題を選定した。制作補助費は標準手術シリーズが一人30万円、最新手術シリーズは再編集や音声入れなども考慮して一人10万円の補助としている。

昨年は、全作品（172本）のDVDを1本5,000円で頒布し、480本の申込があった。

（資料2）

映像による私の手術手技

標準手術シリーズ

1. 重症心身障害児のGERDに対する腹腔鏡下噴門形成術

東京大学小児外科 岩中 督

2. 胆道閉鎖症に対する生体肝移植—レシピエント手術—

京都大学肝胆膵・移植外科 上本 伸二

3. 膵癌の治療戦略：R0をめざした膵頭神経叢切除の方法、および膵腸吻合の方法

山形大学消化器・一般外科 木村 理

4. 直腸癌に対する標準手術：筋膜に沿った剥離・授動

東京医科歯科大学腫瘍外科 杉原 健一

5. 乳癌に対する皮下乳腺全摘術

川崎医科大学乳腺甲状腺外科 園尾 博司

（資料3）

最新手術シリーズ

1. 超低位直腸癌に対するIntersphincteric resectionの術式と治療成績

国立がんセンター中央病院 赤須 孝之

2. 安全で確実なD3郭清を伴う腹腔鏡補助下横行結腸切除術

九州大学臨床・腫瘍外科 植木 隆

3. 肛門部胆管癌に対する肝左葉・尾状葉切除、右肝動脈合併切除・再建術

静岡がんセンター肝胆膵外科 上坂 克彦

4. 肺癌外科治療の低侵襲化のための系統的な取り組み

山口大学器官病態外科学 上田 和弘

5. 微細解剖に沿った胸腔鏡下食道癌根治術
大阪市立大学消化器外科 大杉 治司
6. 大動脈弁置換術後の再手術
神戸市立医療センター中央市民病院心臓血管外科 岡田 行功
7. 胸腹部大動脈瘤に対するハイブリッドステントグラフト治療
大阪大学先進心血管治療学 倉谷 徹
8. GGO を呈する小型肺腺癌に対する縮小手術時の切除端確保の重要性
—術中超音波検査を用いた sublobar resection—
信州大学呼吸器外科 近藤 竜一
9. I-2, I-3 外鼠径ヘルニアに対する PHS (Prolene Hernia System) を用いた手術の工夫
聖路加国際病院消化器・一般外科 柵瀬信太郎
10. 腹腔鏡下脾臓摘出術—年齢別に見た術式の相違—自験例からの検討
北野病院小児外科 佐藤 正人
11. 甲状腺手術における NIM/EMG 気管内チューブを用いた
術中反回神経モニタリングの効能とピットフォール
癌研究会有明病院頭頸科 杉谷 巖
12. 胸部食道癌根治手術の工夫—特に神経温存について—
東京大学胃食道外科 瀬戸 泰之
13. 教育病院における弓部大動脈全置換術
国立循環器病センター心臓血管外科 田中 裕史
14. 内視鏡補助下乳腺手術—現状と将来—
大阪大学乳腺内分泌外科 玉木 康博
15. 腹腔鏡下胃全摘術後の安全な再建法の工夫
九州大学臨床・腫瘍外科 永井 英司
16. 十二指腸・胆嚢・胆管温存膵頭切除術
東京女子医科大学消化器外科 羽鳥 隆
17. 静脈再建による右肝静脈灌流域を温存した肝切除
日本大学消化器外科 檜垣 時夫

3. 生涯教育セミナーについて

- 1) 平成 21 年度は「手術 vs 非手術—最新のエビデンスから—」のテーマで開催した。全国 7 地区で合計 920 名が受講され順調に実施された。
- 2) 平成 22 年度は「外科と化学療法」のテーマで開催する。

4. 病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクトについて

病院間の医師交流を実施する方向で、本会としては、①希望者や受け入れ施設の初回連絡サポート、②金銭面のサポート、③医師への認定証や受け入れ施設への感謝状の作成など、本会としてできることを検討中である。まずは、外科専門医修練施設の 2,135 施設に今回のプロジェクト実施についてアンケート調査を行ったところ、資料 4 のように約 1,200 施設からの回答があり、9 割以上がプロジェクトに賛同されたので今後も実施する方向で検討する。

5. 外科専門医・指導医更新単位について

臨床研究セミナーや学術集会の特別企画を専門医および指導医の更新クレジットとして新たに追加する方向で検討中である。

6. 外科専門医修練カリキュラムの到達目標について

外科専門医を取得するためには「外科専門医修練カリキュラム」の（到達目標 1）に、外科診療に必要な局所解剖、病理学、腫瘍学などの基礎的知識を習熟し、臨床応用できることが挙げられている。習熟しているかどうかは、筆記試験において確認されるが、それだけではなく、各関係学会のセミナーなどに本会会員は特別料金で受講できるシステムなど、他学会と連携が取れるかどうかを検討中である。